数学クォータ科目「基礎数学」」第7回

三角比

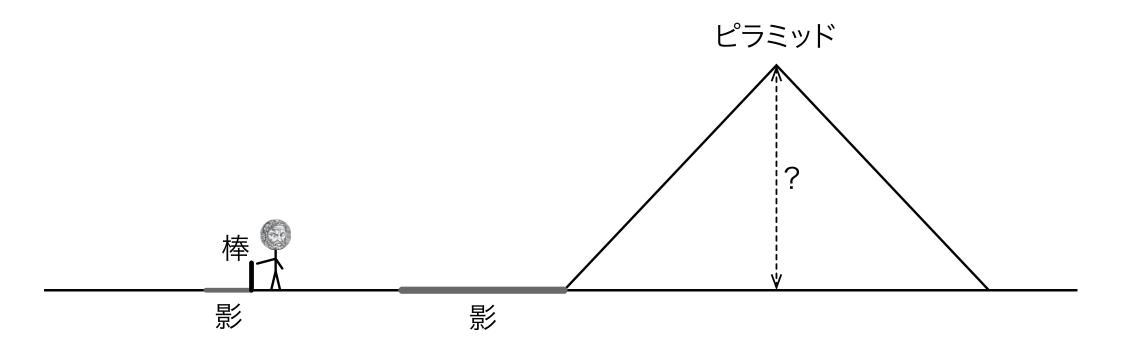
佐藤 弘康 / 日本工業大学 共通教育学群

今回の授業で理解してほしいこと

- 三角比の定義
- 三角比の相互関係を利用した計算

タレスの考え

- ミレトスのタレス:古代ギリシア (B.C. 624 年~B.C. 546 年頃) の哲学者
- ピラミッドの高さを測定した(らしい).



三角形の辺の比

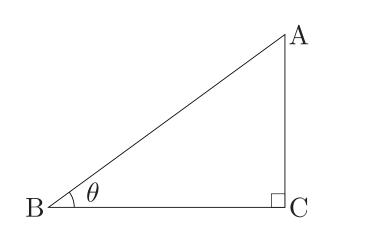
- 三角形の相似条件
 - 3組の辺の比がすべて等しい.
 - 2組の辺の比が等しく、その間の角が等しい.
 - 2組の角がそれぞれ等しい.
- → 直角三角形においては、直角以外の 角 と3つの 辺の比 が対応している.

定義

右の直角三角形において、3つの辺の比を

$$\sin \theta = \frac{AC}{AB}, \cos \theta = \frac{BC}{AB}, \tan \theta = \frac{AC}{BC}$$

と定める. これらを 三角比 とよぶ.



三角比の例

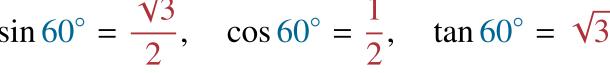
- (1) $\theta = 45^{\circ}$ の三角比
 - → 直角二等辺三角形の辺の比

$$\sin 45^{\circ} = \frac{\sqrt{2}}{2}, \quad \cos 45^{\circ} = \frac{\sqrt{2}}{2}, \quad \tan 45^{\circ} = 1$$



→ 正三角形を半分にした直角三角形の辺の比

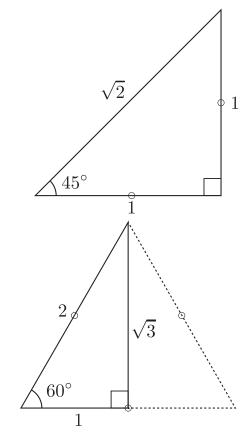
$$\sin 60^\circ = \frac{\sqrt{3}}{2}, \quad \cos 60^\circ = \frac{1}{2}, \quad \tan 60^\circ = \sqrt{3}$$

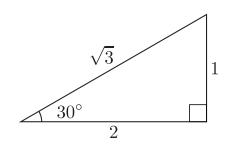




→ (2) の直角三角形の辺の比

$$\sin 30^\circ = \frac{1}{2}, \quad \cos 30^\circ = \frac{\sqrt{3}}{2} \quad \tan 30^\circ = \frac{\sqrt{3}}{3}$$



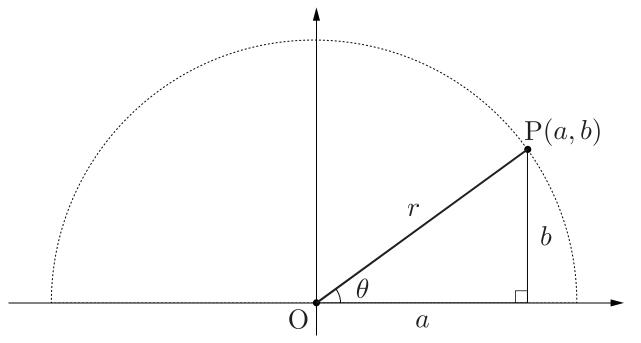


三角比の相互関係

- $(1) \sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$
- (2) $\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$
- $(3) \tan^2 \theta + 1 = \frac{1}{\cos^2 \theta}$

三角比の拡張(鈍角の三角比)

- 三角比とは,
 - 直角三角形 における 角 と 辺の比 の関係 (0 < θ < 90°).
 - 動径 OP の表す 角 と 点 P の座標の比 の関係.



$$\cos \theta = \frac{a}{r}$$

$$\sin \theta = \frac{b}{r}$$

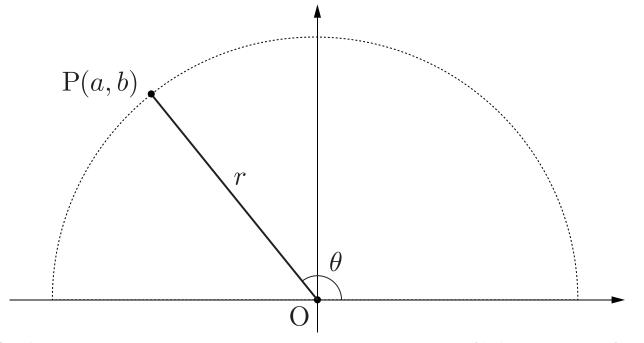
$$\tan \theta = \frac{b}{a}$$

§4.1「三角比」

数学クォータ科目「基礎数学 I」(担当:佐藤 弘康) 5/10

三角比の拡張(鈍角の三角比)

- 三角比とは,
 - 直角三角形 における 角 と 辺の比 の関係 (0 < θ < 90°).
 - 動径 OP の表す 角 と 点 P の座標の比 の関係 (0 ≤ θ ≤ 180°).



$$\cos \theta = \frac{a}{r}$$

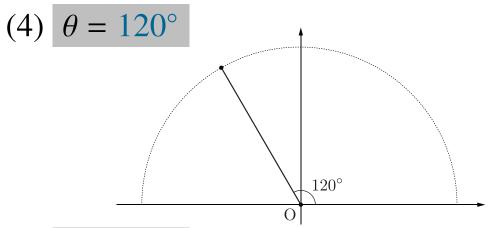
$$\sin \theta = \frac{b}{r}$$

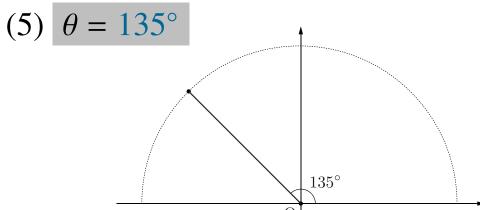
$$\tan \theta = \frac{b}{a}$$

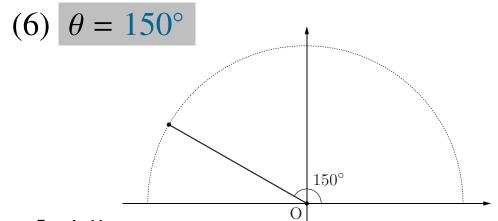
§4.1「三角比」

数学クォータ科目「基礎数学 I」(担当:佐藤 弘康) 5/10

三角比の例







$$\sin 120^\circ = \frac{\sqrt{3}}{2}, \cos 120^\circ = -\frac{1}{2}$$

 $\tan 120^\circ = -\sqrt{3}$

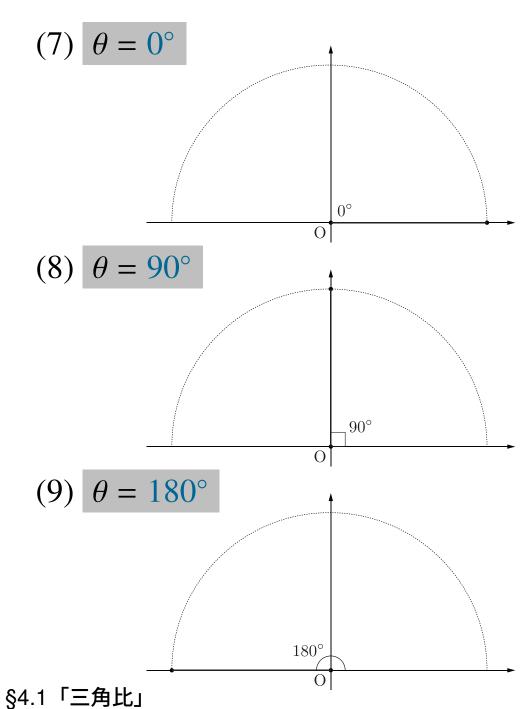
$$\sin 135^\circ = -\frac{\sqrt{2}}{2}, \cos 135^\circ = \frac{\sqrt{2}}{2}$$
 $\tan 135^\circ = -1$

$$\sin 150^\circ = \frac{1}{2}, \cos 150^\circ = -\frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$\tan 150^\circ = -\frac{3}{\sqrt{3}}$$

数学クォータ科目「基礎数学」」(担当:佐藤 弘康) 6/10

三角比の例



$$\sin 0^{\circ} = 0, \quad \cos 0^{\circ} = 1$$

$$\tan 0^{\circ} = 0$$

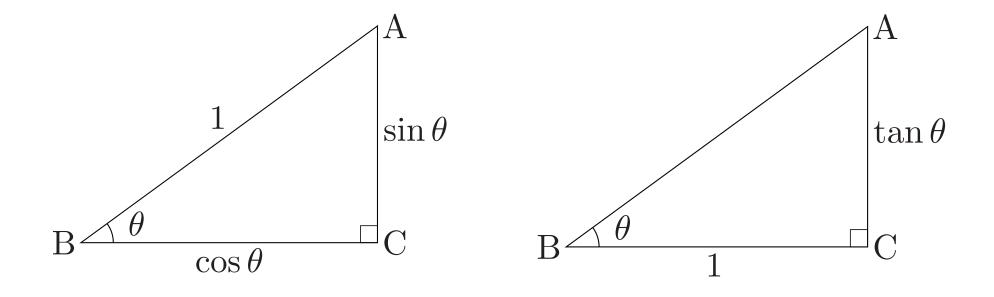
$$\sin 90^{\circ} = 1$$
, $\cos 90^{\circ} = 0$ $\tan 90^{\circ}$ は定義できない

$$\sin 180^{\circ} = 0$$
, $\cos 180^{\circ} = -1$
 $\tan 180^{\circ} = 0$

数学クォータ科目「基礎数学 |」(担当:佐藤 弘康)7/10

三角比についての注意

- (1) 斜辺が 1 の直角三角形(下左図)においては、 底辺が $\cos \theta$ で、高さが $\sin \theta$ である.
- (2) 底辺が 1 の直角三角形(下右図)においては、高さが $\tan \theta$ である.

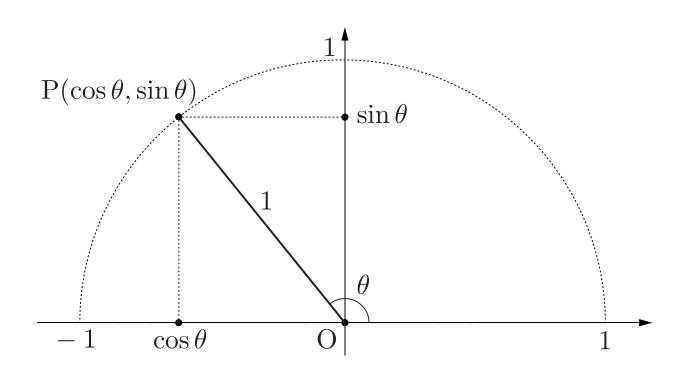


§4.1「三角比」

数学クォータ科目「基礎数学 I」(担当:佐藤 弘康) 8/10

三角比についての注意

- (1) 斜辺が 1 の直角三角形においては、 **底辺が** $\cos \theta$ で、高さが $\sin \theta$ である.
- (2) 底辺が 1 の直角三角形においては、高さが $\tan \theta$ である.
- (3) **動径 OP の長さが** 1 (下図) のとき, 点 P の座標が $(\cos \theta, \sin \theta)$ である.



まとめと復習(と予習)

- 鋭角に対する三角比の定義は?
- 鈍角に対する三角比の定義は?
- 3つの三角比は相互にどのような関係式を満たしますか?

教科書 p.44~48

問題集 28~34